

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	中九州短期大学
設置者名	学校法人 八商学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	経営福祉学科 国際・ビジネスコース	夜・通信			14	14	7	
	経営福祉学科 介護福祉士コース	夜・通信			83	83	7	
	幼児保育学科	夜・通信			11	11	7	
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「学生便覧追加資料」として初回の授業で配布およびホームページ「シラバス」 https://www.nkjc.jp/?page_id=104

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	中九州短期大学
設置者名	学校法人 八商学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=104

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2021.5.29 ～ 2025.5.28	地域産業界との連携をはかる
非常勤	社会福祉法人 理事長	2021.5.29 ～ 2025.5.28	専務理事として理事長の補佐を行う
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中九州短期大学
設置者名	学校法人 八商学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書は開講科目すべてについて作成し、以下のような内容を記載している。まず、単位数、授業の形式(講義、演習など)、開講年次など、必修・選択科目の区別を記載している。さらに、授業の概要と到達目標、事前事後学習についても記載している。授業計画では各コマごとの詳細な授業内容を示している。さらに、成績評価基準及び方法として、定期試験やレポート課題などの評価の対象とその割合について明確にしている。さらに、テキストや参考文献・推薦図書を示している。また、その科目に関連する授業科目を明記することにより、他の科目とのつながりを示している。実務経験のある教員等による授業科目についてはその旨を別紙に記載する。なお、授業計画の作成は前年度1月、ホームページ上の公開は8月に行っている。</p> <p>授業計画書はホームページ上に公表しており、学生がいつでも閲覧できるようになっている。また、初回の講義のときに各科目において配布するように指示している。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=104 および書面にて
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学では学習成果の適正な評価のため、「試験に関する細則」を定めており、これを学生便覧で公表し、学生に周知している。また、各科目においては授業計画書に明記された成績評価基準及び方法により厳格に評価を行っている。成績評価基準には学習態度、課題等提出物、定期試験およびレポートなど比率を明記し、その基準に従って評価をしている。また複数で担当している授業科目についても、「試験に関する細則」に規定しており、「同一授業科目を同時に複数の教員が担当する場合は、担当教員の合議により標語をもって」評価を行っている。学習意欲については、学習態度に加えて、出席状況を毎月報告し、欠席が続く学生や課題提出等が滞っている学生については、科目担当教員だけでなく指導教員からも指導するようにしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については、「中九州短期大学GPA制度に関する細則」を定め、学生便覧にも記載している。算出式は以下(小数点以下第3位を四捨五入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期 GPA = 当該学期の(4×「秀」の単位数+3×「優」の単位数+2×「良」の単位数+1×「可」の単位数) / 当該学期の総履修単位数 ・通算 GPA = 全期間の(4×「秀」の単位数+3×「優」の単位数+2×「良」の単位数+1×「可」の単位数) / 全期間の総履修単位数 <p>GPAは、当該学期の学習成果を示す指標としてのGPA(以下、「学期GPA」という。)並びに在学中における全期間の学習成果を示す指標としてのGPA(以下、「通算GPA」という。)の二種類を定めている。また、細則では、「学期GPAおよび通算GPAが1.50未満の学生は成績不振者として、指導教員より注意および指導を行う。また、必要に応じ保護者への報告を行うものとする」、と定めて実施している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=104 で学生便覧の記載内容として公開
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針としてディプロマポリシー(学位授与の方針)を経営福祉学科国際・ビジネスコースと介護福祉士コース、幼児保育学科の各学科・各コースごとに定め、学生便覧およびホームページで学生に周知している。また、卒業の要件を学則に定めており、2年以上在学し、卒業に必要な単位数は64単位以上とし、その内訳は教養科目8単位以上、専門教育科48単位以上と定めている。卒業の認定に当たっては、卒業判定のための教授会を開催し、最終的には学長が卒業の決定を行うと学則に定めており、適切に実施している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=104 にて学生便覧の記載内容として公開

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	中九州短期大学
設置者名	学校法人 八商学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nkjc.jp/?page_id=104
収支計算書又は損益計算書	https://www.nkjc.jp/?page_id=104
財産目録	https://www.nkjc.jp/?page_id=104
事業報告書	https://www.nkjc.jp/?page_id=104
監事による監査報告(書)	https://www.nkjc.jp/?page_id=104

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.nkjc.jp/?page_id=104

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児保育学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=11 ）
<p>（概要）本田弘人初代学長は広瀬淡窓の咸宜園塾創立の精神に倣い、建学の精神を「師弟の和熟による人間形成」とされ、この精神が現在に継承されている。また、本学の高等教育機関としての使命が、短期大学の 2 年間の教育機関を経て社会に有用な人材を育成することを自覚し、以下の教育理念を掲げている。</p> <p>1. 「師弟愛」と「友情」の涵養 2. 人間教育を基礎として「個人の持つ可能性」の探求 3. 地域社会・文化・産業の発展に向けた有為な人材の育成</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=11 ）
<p>（概要）幼児保育学科の教育目標は、つぎの三つである。</p> <p>① 理論と実践の融合を図り、保育者としての専門性を自覚すること。 ② 社会的な常識や、幅広い教養を身につけること。 ③ 時代にあった生活感を身につけること。</p> <p>幼児保育学科の所定の卒業単位数は 64 単位と定められている。ただし、保育士免許および幼稚園教諭二種免許取得のためには、厚生労働省・文部科学省の要求する単位数の取得が求められる。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=11 ）
<p>（概要）幼児保育学科のカリキュラムは保育士免許および幼稚園教諭二種免許取得の指定科目が大半を占めており、厚生労働省・文部科学省が卒業までに達成すべき学習成果と保育士、幼稚園教諭など保育者として身につけるべき力を明示している。また、「師弟の和熟による人間形成」という建学の精神に基づき、保育者としての人間性の醸成、地域のニーズに対応できる人材育成を目指すことを示している。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：募集要項およびホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=11 ）
<p>（概要）幼児保育学科では、将来、保育所・幼稚園・社会福祉施設などで活躍したいと考え、保育士資格や幼稚園教諭二種免許状の取得を目指す人物を求めている。そのなかで専門職としての自覚を持ち専門的な知識や技術のみならず基礎教養を習得し、かつ常識的な生活感を身につけた保育者を目指す。</p>

学部等名 経営福祉学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=11 ）
<p>（概要）本田弘人初代学長は広瀬淡窓の咸宜園塾創立の精神に倣い、建学の精神を「師弟の和熟による人間形成」とされ、この精神が現在に継承されている。また、本学の高等教育機関としての使命が、短期大学の 2 年間の教育機関を経て社会に有用な人材を育成することを自覚し、以下の教育理念を掲げている。</p> <p>1. 「師弟愛」と「友情」の涵養 2. 人間教育を基礎として「個人の持つ可能性」の探求 3. 地域社会・文化・産業の発展に向けた有為な人材の育成</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=11 ）

<p>(概要) 経営福祉学科の教育目標は、つぎの四つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 多様化した社会での「生活力」の涵養。 ② 基礎学力の重視と補習授業の徹底。 ③ 実学に重点を置いた実践教育。 ④ 地域社会との交流の促進。 <p>経営福祉学科では介護福祉士コースと国際・ビジネスコースを設けている。介護福祉士コースの場合は、「あらゆる介護場面に汎用できる基本的知識・技術を養い、自立支援の観点から尊厳ある介護実践ができ、かつ思いやり愛情ある介護福祉士を養成すること」を目的とする。国際・ビジネスコースの場合は、現在の複雑で多様な企業社会を生き抜く力を持った人材の育成を目的とする。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=11）</p>
<p>(概要) ・介護福祉士コースのカリキュラムはその大半を介護福祉士資格取得のための指定科目が占めており、厚生労働省が卒業までに到達すべき学習成果と介護福祉士として身につけるべき力を明示している。これらの指針に従い、介護福祉士養成における「介護」、「人間と社会」及び「こころとからだのしくみ」の3領域に編成し、領域ごとの連携を重視しながら、カリキュラムの編成に努めている。</p> <p>・国際・ビジネスコースでは、以下のようにカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 簿記やコンピュータを専門に習い、企業人としての専門知識を持った人材を育成する。 ② 少人数教育を中心とした学生と教員の親睦を深めた人間教育を行う。 ③ 企業人としての基礎的素養および学力を身につける。 ④ 実学を重視して演習科目に力を入れる。 <p>正規の授業科目を補充するための特別講座を開講する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：募集要項およびホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=11）</p>
<p>(概要) 経営福祉学科では、急激な高齢化や高度情報通信化などの社会の変化に対応できる、広い視野と的確な判断力を備えた積極的で意欲ある人材を求めています。とくに、現代社会の急激な変化に対応していくために、各自の個性に応じた専門知識と技術の習得を目指します。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.nkjc.jp/?page_id=104</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
幼児保育学科	—	3人	1人	5人	0人	0人	9人
経営福祉学科	—	4人	2人	3人	0人	0人	9人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			27人				27人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=104					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児保育学科	50人	38人	76%	130人	82人	63.1%	0人	0人
経営福祉学科	50人	35人	70%	100人	76人	76%	0人	0人
合計	100人	73人	73%	230人	158人	68.7%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児保育学科	55人 (100%)	1人 (1.8%)	47人 (85.5%)	7人 (12.7%)
経営福祉学科	31人 (100%)	5人 (16.1%)	23人 (74.2%)	3人 (9.7%)
合計	86人 (100%)	6人 (7.0%)	70人 (81.4%)	10人 (11.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）授業計画書は開講科目すべてについて作成し、以下のような内容を記載している。まず、単位数、授業の形式（講義、演習など）、開講年次など、必修・選択科目の区別を記載している。さらに、授業の概要と到達目標、事前事後学習についても記載している。授業計画では各コマの詳細な授業内容を示している。さらに、成績評価基準及び方法として、定期試験やレポート課題などの評価の対象とその割合について明確にしている。さらに、テキストや参考文献・推薦図書を示している。また、その科目に関連する授業科目を明記することにより、他の科目とのつながりを示している。

実務経験のある教員等による授業科目についてはその旨を別紙に記載する。なお、授業計画の作成は前年度1月、ホームページ上の公開は8月に行っている。

授業計画書はホームページ上に公表しており、学生がいつでも閲覧できるようになっている。また、初回の講義のときに各科目において配布するように指示している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）本学では学習成果の適正な評価のため、「試験に関する細則」を定めており、これを学生便覧としてWebに公表し、学生に周知している。また、各科目においては授業計画書に明記された成績評価基準及び方法により厳格に評価を行っている。成績評価基準には学習態度、課題等提出物、定期試験およびレポートなど比率を明記し、その基準に従って評価をしている。また複数で担当している授業科目についても、「試験に関する細則」に規定しており、「同一授業科目を同時に複数の教員が担当する場合は、担当教員の合議により標語をもって」評価を行っている。学習意欲については、学習態度に加えて、出席状況を毎月報告し、欠席が続く学生や課題提出等が滞っている学生については、科目担当教員だけでなく指導教員からも指導するようにしている。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児保育学科	64 単位	有・無	単位
	経営福祉学科	64 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=104

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	幼児保育	620,000 円	250,000 円	52,202 円	
	経営福祉	620,000 円	250,000 円	48,202 円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学習支援センターを設置し、①学習活動に困難が生じる学生への支援②学生の心のケアに関する学生相談③学生の体のケアに関する健康相談④四年制大学等編入進学者指導を行う。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職委員会を設置し、就職支援センターがその事務を担う。 就職先開拓、求人票管理、就職活動指導などを行う。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学習支援センターを設置し、①学習活動に困難が生じる学生への支援②学生の心のケアに関する学生相談③学生の体のケアに関する健康相談④四年制大学等編入進学者指導を行う。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ https://www.nkjc.jp/?page_id=104

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F243310111398
学校名	中九州短期大学
設置者名	学校法人 八商学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		71人	60人	71人
内 訳	第Ⅰ区分	43人	36人	
	第Ⅱ区分	16人	15人	
	第Ⅲ区分	12人	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				71人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		-	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		-	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	-
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間		前半期	-	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	-
GPA等が下位4分の1		-	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		-	-
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。